

# 書塾の仲間たち

第 232 回

## キララ会 (東京都葛飾区)



### ● 書塾からひとこと ●

東京は葛飾区柴又、「フーテンの寅さん」で親しまれている帝釈天から程近い、柴又と高砂で私たちの会は活動をしています。

柴又教室は個人指導の教室で、幼児から70歳代までの幅広い方々が毛筆・硬筆それぞれの目的に応じて稽古に通われています。美しく、整った字を学べる月刊「書写書道」のおかげで、学校の書初め展で代表になり、区や都の展覧会に出展する子どもも多数います。

高砂教室は、地元のお寺・妙栄院様と立案して始めた「親子で学ぶ硬筆教室」です。保護者の方もお子さんも同じ課題を書いて、学んでいます。同じ課題を書くことで、家庭でも親子で話題を共有することが増えたそうです。子どもの努力をほめる場も生まれているようで、子どもたちがうれしそうに話してくれています。保護者の方にとっても楽しい時間となっているようで、社会とのつながりや学ぶ時間の楽しさ、自己成長を実感して喜ばれているようです。

門前町のしっとりとした趣と下町情緒が残る雰囲気の中で、親子やお友だち同士で、時には和気藹々と、時には真剣に学ぶ光景が微笑ましく、私自身もとても幸せな気持ちになれます。

楽しく稽古されている生徒さんの思いや、地域コミュニティの場としてお寺を活用してほしいという妙栄院様の御心にお応えできるよう、「和顔愛語」を心構えとしてこれからも創意工夫を重ねてまいりたいと思っています。

「書」が、単に字を学ぶということだけでなく、どまらず、「人と人の心を結ぶ道」の一つになることができれば、書に携わる者の一人として大変うれしく、この上ない喜びだと思っています。

キララ会

主宰 福島 光雲

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



気持ち伝わる字を書きたい

埼玉県富士見市立関沢小学校四年

八森 杏紗

私は、小学1年のときに、高校生の書道パフォーマンスを初めて見ました。大きな筆で大きな文字を書くのは、迫力があって、とても楽しそうでした。自分もいつか大きな筆を持って書いてみたいと思いました。

2年生になり、近くでできた書道教室をお母さんが見つけてくれたときは、とてもうれしかったです。教室で、先生はいつも、上手に書けたポイントをたくさん見つけてくれ、さらに上手に書けるヒントも一つずつ教えてくれるので、書くのが楽しくなるし、やる気が出ます。

私は、「ほらい」が得意です。先生がいつもほらいを褒めてくれるし、ほらいを上手に書けると気持ちがいいです。「ほね」はいつも筆の先がまとまらないので、きれいにまとめられるようにがんばりたいです。また、作品がきれいに見えるように、名前までしっかりと、ていねいに書くように心がけています。

先生が「おしいね、あとちょっと」といつも応援してくれるので、上手に書けず、あきらめそうなきもがんばれます。

教室で書いた作品を持って帰ると、お父さんとお母さんが褒めてくれるのがうれしくて、毎週、書道教室に通う日を楽しみにしています。

私もいつか、見る人に気持ち伝わるような字が書けるように、これからも楽しく、がんばって書道を続けたいと思っています。

## 私と書写書道 第232回



もっと上の級を目指して

静岡県裾野市立東小学校六年

大場 文翔

僕が書道を始めたまっかけは、おばあちゃんが書道をやっているのを小さいときから見ている、いつかやってみたいと思っていたからです。それに仲の良い友達も書道を楽しそうに習っていたのを見て、僕も始めることに決めました。

書道を習っていて良かったことは、いろいろな賞に選ばれて賞状をもらったことです。いただいた賞状は額に入れて部屋に飾ってあります。それを見てみると、おけいこを頑張って続けてきて良かったと思います。

僕は、書道始める前から学校のノートに字を書くことは好きでしたが、習うようになってからは、先生に教えてもらったことを思い出しながらきれいに書くことを心がけています。そうするとノートがとも見やすくなり、勉強のやる気も出ます。それから、おけいこのときに先生がほめてくれることも頑張る力になっていきます。思うように書けないときも、先生は直した方がよい所を優しく分かりやすく教えてくれます。次に上手く書くことができてもう一度褒めたいときは、とても嬉しいですね。

月刊「書写書道」を受け取って、自分の名前の上に丸がついているか確認するのを、毎月ドキドキしながら、とても楽しみにしています。昇級しているのが嬉しいし、していなかったときはがっかりしますが、次も頑張ろうという気持ちになります。

これからもっと上の級に上られるように毎回のおけいこを頑張ろうと思います。そして、夏休みや書初めなどのコンクールでは、自分で上手く書けたと思えるような作品を仕上げ、また賞をいただけるようにがんばろうと思っています。